



## 教育GP ニュース 第4号

### 1) 一関高専ほか広報活動(山崎准教授:1月8日)

1月8日(金)に、仙台高専・広瀬キャンパス、一関高専を訪問し、本校一学科制の概要とGPの取り組みについて、持参した資料をもとに説明して参りました。仙台高専・広瀬キャンパスは、旧仙台電波高専で、昨年10月より宮城工業高専と統合され仙台高専となったばかりです。お会いしたのは副校長(教務担当)の逢坂雄美先生です。旧仙台電波高専としてGPに採択されたプログラムには、特別支援教育をテーマとしたもの、本年度から採択されたプログラムとして国際交流事業をテーマとしたものがあるとのことでした。それらについてお話をうかがいました。また、一関高専では、副校長(教務担当)の佐藤昭規先生、渡辺仁史先生(一般教科)と面会してお話をいたしました。本校GPの説明のあと、キャリア教育に関する一関高専での取り組みについてうかがいました。地域の企業見学、工場見学、インターンシップの取り組みや五年間の計画等のお話をいただきました。

### 2) 第15回高専シンポジウム in いわきにて発表(北野准教授:1月23日)

1月23日(土)にいわき市文化センターで開催された第15回高専シンポジウム in いわきにて、ティーチング・ポートフォリオに関する講演をする一方、教育GPの広報活動を行って参りました。今回のシンポジウムでは、299件の研究発表がありました。主管校の福島高専では、今まで3件のGPが採択されています。そのうちの1つ学生支援GP「マルチメディア活用型ピアサポートシステム」では、学生が積極的に情報交換や情報発信を行い、学内のコミュニケーションを活発化させることを目的として、平成20年度より、Webメール、SNS、CMS、WIKIなどを連携したeラーニング2.0のシステムを導入し、積極的に活用しているという報告がありました。また、本校の「特別研究」に相当するものとして、福島高専では2年前期に必修科目「ミニ研究」(1単位)が配置されています。この科目では、一般科だけでなく専門科の教員も含め、約40人の教員で200人の学生を指導しており、教員1名あたり学生約5名という理想的な少人数教育を行っています。発表会は、9月に体育館で行われ、ポスター形式で全員が発表します。これは保護者にも開放されており、大変好評であるという報告がありました。

### 3) 工業高校校長会での本校教育GP説明(霞谷副校長:1月27日)

ホテルアウイーナ大阪において、府立工業高校校長会・府立高専連絡会議が開催されました。この席上、編入学情報について説明した後、府立高専における教育GPについて説明を行いました。本校より持参したパンフレットに基づき本校の紹介および総合工学実験実習の考え方とコースの垣根を越える実験実習というテーマで実施していること、その特徴と目指すべき成果などを説明しました。

### 4) サイエンスクラブフェスタ(豊中市教育センター)での広報活動(土井准教授:1月30日)

豊中市教育センターにおいて、サイエンスクラブフェスタが開催されました。このフェスティバルは、豊中市内小中学校や豊中市近隣の高校、大学のサイエンス系クラブ、サークル等の交流を図り、豊中市地域の子供達の科学教育の活性化を推進するために毎年開催されています。今年は、高専ロボコン全国大会に出場した、ろぼっと倶楽部のロボット「オバチャンバラ」とともに、5年生が製作した卒業製作の「Aプロジェクト:圧電発電パネル」と「Gプロジェクト:エネルギーを有効活用した自転車」を展示・実演し、教育GPの成果をPRしました。地域の小中学生・保護者が多数集まり、教育GPパンフレットを61部配布しました。

### 5) イザ!カエル大キャラバン(兵庫県・人と防災未来館)での広報活動(土井准教授:1月31日)

兵庫県神戸市にある人と防災未来館において、イザ!カエル大キャラバンinHAT神戸が開催されました。この催しは、阪神・淡路大震災後に神戸市で生まれた「イザ!カエルキャラバン」という幼児を対象とした防災啓発活動で、おもちゃを交換するために色々な防災啓発の作業体験をするものです。この催しに、従来から本校福祉科学研究会がレスキューロボット操縦体験で協力し、併せて本校の卒業製作の展示・実演(内容は4と同じ)をしました。地域の子供達・保護者が多数集まり、教育GPパンフレットを36部配布しました。